

平成 29 年度北区地域支援連絡会議から見えてきた課題の整理

(川島先生より)

◆第 1 回北区支援連絡会議 「個人情報保護」

<グループワークで見えてきた主な課題>

○引きこもりがちな人のニーズ情報が把握しづらい

論点 1: ニーズキャッチの網の目の検証

今は誰がどのように当事者のニーズキャッチができているのか

論点 2: さらに網の目を細かく、網を広げていくためには

新たなニーズキャッチのアンテナの可能性、アンテナ同志のつながりの可能性
その際に、当事者を主体として考えるときの課題点

○地域が把握した情報が専門職支援につながらない（地域の抱え込み）

論点 3: 個人情報専門職につなげた後の経路の明確化・見える化

安心して情報を出せるようにする

論点 4: どこに相談すればよいかを分かりやすくするにはどうすればよいか

窓口の一本化の可能性

◆第 2 回北区地域支援連絡会議 「地域福祉コーディネーターの活動課題」

<グループワークで見えてきた主な課題>

○引きこもりがちな人の情報が入らない

論点 5: 専門職が持っている情報を地域とどのように共有するか

○専門職と地域の見守りが平行して求められる

論点 6: 地域行事に今まで参加していた人が状態の変化とともに参加が難しくなる

この人の地域のつながりを保つことと専門職支援の両立をどうするか

論点 7: 地域福祉コーディネーターが抱え込むには限界がある。地域福祉コーディネーターを孤立させないためには

○ケア会議開催や支援チームの形成は地域福祉コーディネーターでは難しい

論点 8: 専門職と地域と一緒に地域課題を考える機会が必要→どのようにつくるか

論点 9: 地域の活動者が専門的知識を得る機会をどのようにつくるか